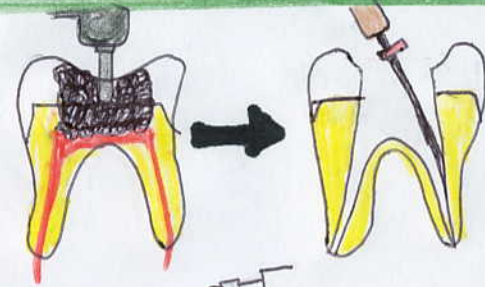


Q. なぜ歯根の治療は難しく、大切なの？

A. 神経が死んでしまっても歯を保存して、抜歯しないための**最後の手段**だからだよ！！

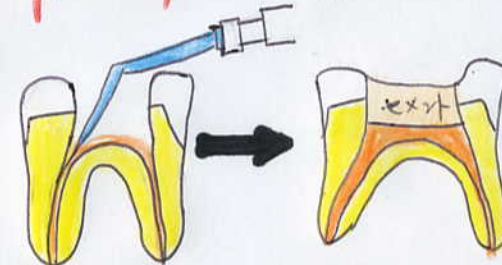
歯根の治療（根管治療）とは、どんな治療？

①



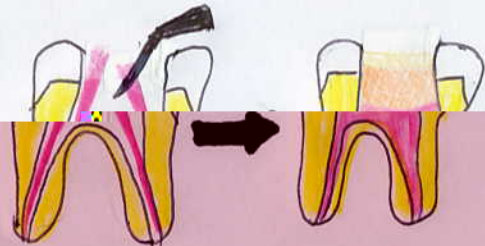
歯髄も汚染された根管を削って慎重に掃除をしながら、根管の形を整える。

②



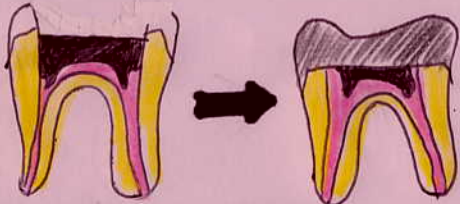
消毒薬を注入して根管のなかを消毒する。その上に消毒薬やセメントでしっかりと詰める。

③



細い詰め物や本物を使って先端までしっかりと詰める。

④



器具を使って上から力を加えて根管にしっかりと本物の詰めをする。

冠をかぶせるために土台を削って型をとる。

冠をかぶせて咬み合せをケツいて**治療完了**！！

治療を中断してしまうと...

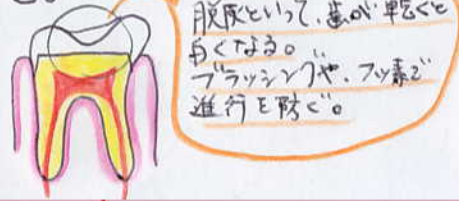


せっかく細菌が少なくなった歯の中が再び汚染され、それほどの治療がすべて**ムダ**になる事も！以前よりさらに強い痛みや腫れが出やすくなります！！

ポカポカ緩くなって、気持ちの良い天気の日が99%になりました！おいしい旬の食べ物も増え、食べ過ぎに注意しないとイケない今日この頃 ☺
さて、今回のHappy Smileでは、知っている方が知らない歯の根っこ(歯根)の治療についてお話ししたいと思います！

まずは、虫歯の段階について...

C0



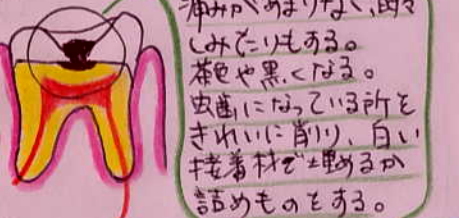
脱灰といって、歯が軽くて白くなる。フッ素や、フッ素の進行を防ぐ。

C1



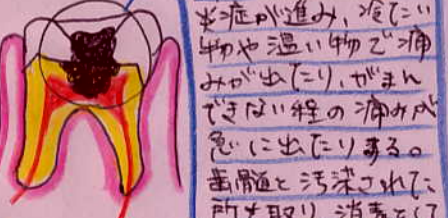
(みどり)、痛かほわが黒、ほくみえ場合も。少し削り削り、白い接着材が埋める。

C2



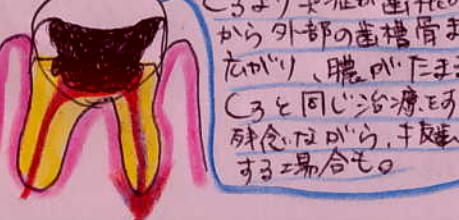
痛かあまりなく、しみはあがる。茶色や黒くなる。虫歯に近づいている所をきれいに削り、白い接着材が埋めるか詰め物をする。

C3



歯の神経(歯髄)まで虫歯が進み、冷たい物や温かい物で痛みがひどい、がまんできない程の痛かや急に出血がある。歯髄も汚染された所を取り、消毒をしっかりとめる。

C4



C3より虫歯が歯根の先から外部の歯槽骨までたかり、膿がたまる。C3と同じ治療でもか残念ながら、抜歯をする場合も。